

研究等成果報告書

研究費の区分	学部等研究費
研究課題	異文化交流に関する基礎的研究 (岩手県の自治体における姉妹都市交流に関する実証的研究)
学部等・職・氏名	共通教育センター ・ 教授 佐藤智子
研究成果の概要	<p>事例研究として、釜石市とディーニュ・レ・バン市との姉妹都市交流を取り上げた。</p> <p>1992年釜石市を主会場として三陸・海の博覧会が開催されたが、博覧会の目玉のひとつが、ディーニュ・レ・バン市で1億9千5百万年前の地層から発見された、アンモナイト化石群の剥離標本(複製)の展示であった。この標本(複製)製作に力を貸したのが、ディーニュ・レ・バン市にあるオート・プロヴァンス地質学研究所であったことが縁で、釜石市は同市を知ることになった。市関係者の相互訪問を経て、1994年両市は姉妹都市提携を締結したが、最初の数年間は児童・生徒の絵画交換交流が続いたものの、1999年度以降その交流は途絶えた状態になっている。</p> <p>本論では最初に、太平洋に面している海の町釜石市と、アルプスの麓にある山の町ディーニュ・レ・バン市がどのようにして出会ったのかを詳しく解明した。そして次に、姉妹都市提携後どのような交流へと発展していったのか、その軌跡を辿った。さらに、初動期が過ぎると、瞬く間に交流活動が停止状態に陥ってしまった原因はどこにあるのかを考察した。</p>
目標の達成状況	釜石市とディーニュ・レ・バン市との姉妹都市交流の事例研究によって、姉妹都市提携のブームとバブル景気に乗って交流を開始した自治体が、どのような結末を迎えるかを実証することができた。すなわち、横並び意識で姉妹都市提携を結んだが、航路が確定しないままの船出なので、5年という短期間で失速してしまった。
成果発表等	研究成果を論文としてまとめ、下記に投稿した。 『総合政策』第9号第2号(2008年4月31日発行予定)(受理済み)

注 学会発表論文等の成果発表資料を添付すること。(成果発表資料がない場合は、研究実施レポートを添付すること)